

LGBT法 連合会

平成28年参議院議員選挙に際して
LGBT（性的指向・性自認）をめぐる課題に関する
各立候補者の政策と考え方に関する調査

注：既回答者・回答内容を、赤字・太字にて表現しております。

平成28年 7月 5日時点

選挙区 沖縄県 候補者の回答結果

現時点での回答回収ご立候補者

自民党 **島尻安伊子**

民進党

公明党

おおさか維新

共産党

社会民主党

無所属 **伊波洋一**

問1 貴殿が今回の参議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかのLGBT支援・権利確保政策は既に含まれていますか？将来はいかがでしょうか？（単独回答）

1. LGBTの課題として、既に含まれている
2. 様々な少数者の支援・権利確保を謳う中に含まれている
島尻（自民）
3. 将来入る可能性はある
伊波（無）
4. 将来入る可能性はない
5. その他

問2 個人としての、LGBT当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人からLGBTであることを、もし告白（カミングアウト）されたら、あなたはどうかされますか？（複数回答）

可)

<p>1. その人を尊重し応援したいと思う 島尻（自民）、伊波（無）</p> <p>2. 距離をおきたいと思う</p> <p>3. 差別や偏見で苦勞するだろうから、異性愛者としてや、戸籍上の性別のままで生きるように諭す</p> <p>4. 答えられない／分からない</p> <p>5. その他（具体的に： _____)</p>
--

問 3 LGBT 支援政策の下記の①－⑦の課題各々に関して、法制度や行政がどのように対応すべきか、ご自身のお考えを選び、ご記入下さい。

	1. 法律で義務化	2. 行政（省庁・自治体）の裁量	3. 現場の裁量	4. わからない	5. その他
① 性的指向・性自認と、LGBT 当事者の直面する困難について、広く社会に教育・啓発を行う	島尻（自民） 伊波（無）				
	〔自由回答〕 自民党は、性的指向・性自認など多様性の理解促進のため、議員立法を検討。				
② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBT へのいじめ・差別を防止する	伊波（無）				
	〔自由回答〕				
③ 国・自治体の各レベルで、LGBT（性的指向・性自認に係る）の困難解消に向けた、基本計画を策定し実施する	伊波（無）				
④ 学校・職場における、LGBT へのいじめ・ハラスメントの防止体制を確立する	伊波（無）				
⑤ 困難を抱く LGBT に対する、相談・支援	伊波（無）				

の仕組みを、学校・職場等に整備する					
⑥ LGBT に対する（性的指向・性自認に係る）、差別や不利益取扱いを防止・禁止する法律やルールを制定する	伊波（無）				
⑦ 施設・職場・学校等にて、LGBT に配慮した、サービスや施設面の対応を推進する	伊波（無）				

問 4 世界では、現在 20 か国で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域では同性間に適用できるパートナーシップ制度が広まっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）

- | |
|--|
| <p>1. 同性間でも男女と同じ婚姻制度を適用できるようにすべきだ
 伊波（無）；国民的な議論をふまえて実施に移していく。</p> <p>2. 現在の婚姻に加えて、別途同性間だけのためのパートナーシップ制度を設けるべきだ</p> <p>3. 現在の婚姻に加えて、（事実婚など異性間でも、）同性間でも利用できるパートナーシップ制度を設けるべきだ
 伊波（無）：同上</p> <p>4. 各自治体が、条例や首長のリーダーシップにて、同性間の関係を認知する宣誓・証明等を行う仕組みを広げていくべきだ（渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、等の例にならない）
 伊波（無）：同上</p> <p>5. こうした制度は異性間のものであるべきで特に必要ない</p> <p>6. 答えられない／分からない</p> <p>7. その他
 島尻（自民）
 （具体的に：パートナーシップ制度は、国民的議論がまだ深まっていないので慎重に検討すべきである。）</p> |
|--|

問 5 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面する LGBT 当事者を支援する為、ひとりの国会議員と

してどのような事が出来るとお考えでしょうか？ ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。

(自由記述)

島尻安伊子（自民）

我が党としても学校現場や労働相談窓口等において、適切に相談・支援ができる体制とするよう、政府に対して申し入れを行ったところであり、今後政府の取り組みをフォローアップしていく予定である。

伊波洋一（無）

性的マイノリティーの方々が雇用差別を受けたり、職場や学校で差別や偏見に苦しめられている現状を改めていく必要がある。国会では、超党派の議員連盟が昨年発足し、先の通常国会には LGBT 差別解消法案が提出されており、こうした取り組みを後押ししていきたい。性の多様性に関する正確な知識の普及・啓発や職員・教員への研修、対策に積極的な企業の顕彰など、性的指向や性自認を理由とする差別の解消に向けた国と事業者の取り組みを求めていく。

* 質問は以上です。記入漏れがないか念のためご確認の上、ご返送下さい。ご多忙の中、ご協力いただきありがとうございました。